



# 財務会計 第15回 解説

## 【1】

- 市場販売目的のソフトウェアである製品マスターの制作費は研究開発費に該当する部分を除いて、貸借対照表に無形固定資産として計上しなければならない。
- 経営破綻または実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権は、破産更生債権等に分類し、その貸倒見積額は、財務内容評価法により算定する。
- 分配可能額の計算は、剰余金から自己株式の帳簿価額とのれん等調整額の超過分を差し引いて行う。

## 【2】

1.

借方	減 損 損 失	35,000*	貸方	備 品	35,000
----	---------	---------	----	-----	--------

- \* 300,000円 - 135,000円 = 165,000円 > 150,000円 → 減損損失を認識する  
 120,000円 < 130,000円 → 回収可能価額 130,000円  
 165,000円 - 130,000円 = 35,000円

2.

借方	社 債 利 息	46,393* <sup>1</sup>	貸方	当 座 預 金	20,000* <sup>2</sup>
				社 債	26,393* <sup>3</sup>

\* 1 (1) × 1年4月1日

$$\text{払込金額} : 4,000,000\text{円} \times \frac{96\text{円}}{100\text{円}} = 3,840,000\text{円}$$

(2) × 1年9月30日

$$\textcircled{1} \text{ 利息配分額} : 3,840,000\text{円} \times 2.4\% \times \frac{6\text{か月}}{12\text{か月}} = 46,080\text{円}$$

$$\textcircled{2} \text{ 券面利息} : 4,000,000\text{円} \times 1\% \times \frac{6\text{か月}}{12\text{か月}} = 20,000\text{円}$$

$$\textcircled{3} \text{ 償却額} : \textcircled{1} - \textcircled{2} = 26,080\text{円}$$

(3) × 2年3月31日

$$(3,840,000\text{円} + 26,080\text{円}) \times 2.4\% \times \frac{6\text{か月}}{12\text{か月}} \approx 46,393\text{円} \text{ (円未満四捨五入)}$$

$$* 2 \quad 4,000,000\text{円} \times 1\% \times \frac{6\text{か月}}{12\text{か月}} = 20,000\text{円}$$

\* 3 貸借差額

3.

借方	その他資本剰余金	3,300,000	貸方	未払配当金	7,000,000
	繰越利益剰余金	4,400,000		資本準備金	300,000* <sup>1</sup>
				利益準備金	400,000* <sup>2</sup>

$$* 1 \quad (1) \quad 7,000,000\text{円} \times \frac{1}{10} = 700,000\text{円}$$

$$(2) \quad 50,000,000\text{円} \times \frac{1}{4} - (6,730,000\text{円} + 5,050,000\text{円}) = 720,000\text{円}$$

$$(3) \quad (1) < (2) \quad \therefore 700,000\text{円}$$

$$(4) \quad 700,000\text{円} \times \frac{3,000,000\text{円}}{3,000,000\text{円} + 4,000,000\text{円}} = 300,000\text{円}$$

$$* 2 \quad 700,000\text{円} \times \frac{4,000,000\text{円}}{3,000,000\text{円} + 4,000,000\text{円}} = 400,000\text{円}$$

4.

借方	関連会社株式	450,000	貸方	持分法による投資損益	450,000*
----	--------	---------	----	------------	----------

$$* \quad 1,500,000\text{円} \times 30\% = 450,000\text{円}$$

5.

借方	売 掛 金	600	貸方	為替差損益	600*
----	-------	-----	----	-------	------

$$* \quad (@112\text{円} - @110\text{円}) \times 300\text{ドル} = 600\text{円}$$

## 【3】

問1

(1) 利息費用	7,000 円* <sup>1</sup>	(4) 退職給付引当金	173,000 円* <sup>4</sup>
(2) 期待運用収益	4,000 円* <sup>2</sup>	(5) 退職給付債務	312,000 円* <sup>5</sup>
(3) 退職給付費用	53,000 円* <sup>3</sup>		

$$* 1 \quad 350,000\text{円} \times 2\% = 7,000\text{円}$$

$$* 2 \quad 100,000\text{円} \times 4\% = 4,000\text{円}$$

$$* 3 \quad 50,000\text{円} + (1) - (2) = 53,000\text{円}$$

$$* 4 \quad \frac{(350,000\text{円} - 100,000\text{円})}{\text{期首退職給付引当金}} + (3) - 70,000\text{円} - 60,000\text{円} = 173,000\text{円}$$

$$\text{または、} (5) - 139,000\text{円} = 173,000\text{円}$$

$$* 5 \quad 350,000\text{円} + 50,000\text{円} + (1) - 60,000\text{円} - 35,000\text{円} = 312,000\text{円}$$

(注) 退職給付債務について、期末時価のデータがないため、数理計算上の差異は発生していないことを前提に計算しています。

問2

(1) このリース取引がファイナンス・リース取引に該当し、所有権移転条項がある場合

(ア) リース資産の取得原価	900,000 円* <sup>1</sup>
(イ) ×1年度の減価償却費の金額	150,000 円* <sup>2</sup>

\*1 所有権移転条項ファイナンス・リース取引について、借手において貸手の購入価額等が明らかな場合は、貸手の購入価額等

\*2 900,000円÷経済的耐用年数6年=150,000円

(2) このリース取引がファイナンス・リース取引に該当し、所有権移転条項がない場合

(ア) ×2年度の支払利息の金額	29,039 円*
(イ) ×2年度の貸借対照表の流動負債に記載するリース債務の金額	177,799 円*

\* 所有権移転外ファイナンス・リース取引の場合、貸手の購入価額等（貸手の購入価額等が明らかでない場合は、見積現金購入価額）とリース料総額の割引現在価値のうち、いずれか低い方をリース資産の取得原価とします（本問においては、リース料総額の割引現在価値890,364円）。

(3) このリース取引がファイナンス・リース取引に該当しない場合

(ア) ×2年度に計上する費用の金額	200,000 円*
--------------------	------------

\* 当該リース取引がファイナンス・リース取引に該当しない場合は、リース料の年額を費用計上する。

【4】

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー（小計欄まで）

(1) 税引前当期純利益から営業活動以外による損益の除去

受取利息及び受取配当金	△390千円（減算）+△60千円（減算）=△450千円（減算）
支払利息	350千円（加算）
有価証券評価損	1,000千円（加算）
有価証券売却益	△320千円（減算）
固定資産売却損	200千円（加算）

(2) 非資金損益の調整

減価償却費	7,000千円（加算）
-------	-------------

(3) 営業活動に係る資産・負債の調整

① 資産項目

売上債権の増減額	65,000千円-55,000千円=10,000千円（減算）
棚卸資産の増減額	51,250千円-52,300千円=△1,050千円（加算）
前払金の増減額	2,210千円-0千円=2,210千円（減算）

② 負債項目・売上債権に対する貸倒引当金

仕入債務の増減額 36,040千円-16,500千円=19,540千円（加算）

貸倒引当金の増減額 1,300千円-1,100千円=200千円（加算）

売上債権（売掛金）		貸倒引当金	
期首 55,000	収入	取崩 0	期首 1,100
	∴795,000		繰入額
売上 805,000	期末 65,000	期末 1,300	200
仕入債務（買掛金）		棚卸資産（商品）	
支出 ∴525,410	期首 16,500	期首 52,300	売上原価 546,000
	仕入	仕入 ∴544,950	期末 51,250
期末 36,040	544,950		

キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

営業活動によるキャッシュ・フロー

（税引前当期純利益）	（ 60,000 ）
減価償却費	（ 7,000 ）
貸倒引当金の増減額	（ 200 ）
受取利息及び受取配当金	（ △450 ）
支払利息	（ 350 ）
有価証券評価損	（ 1,000 ）
有価証券売却益	（ △320 ）
固定資産売却損	（ 200 ）
売上債権の増減額	（ △10,000 ）
棚卸資産の増減額	（ 1,050 ）
前払金の増減額	（ △2,210 ）
仕入債務の増減額	（ 19,540 ）
小計	（ 76,360 ）

2. 営業活動によるキャッシュ・フロー（小計欄以下）

小 計	(	76,360	)
利息および配当金の受取額	(	450	)
利息の支払額	(	△350	)
法人税等の支払額	(	△21,300	)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(	55,160	)

未 払 法 人 税 等

法人税等の支払額 △21,300	期首	15,000
	法人税、住民税及 び事業税	18,000
期末	11,700	

3. 投資活動によるキャッシュ・フローの区分

- (1) 定期預金の預入による支出 △740千円
- (2) 定期預金の払戻による収入 2,000千円
- (3) 有形固定資産の取得による支出 △280,000千円
- (4) 有形固定資産の売却による収入 147,000千円

- ① 売却分の取得原価：256,000千円
- ② 売却分の減価償却累計額：108,800千円
- ③ 売却分の帳簿価額：①－②＝147,200千円
- ④ 売却による収入：③－固定資産売却損200千円＝147,000千円

- (5) 有価証券の取得による支出 △5,000千円
- (6) 有価証券の売却による収入 5,500千円

- ① 有価証券の売却分の簿価：32,500千円＋5,000千円－32,320千円＝5,180千円

有 価 証 券

期首	32,500	売却	
			△5,180
購入（資料5）	5,000	期末	32,320
			（決算整理前残高）

- ② 有価証券の売却による収入：売却分の簿価5,180千円＋有価証券売却益320千円＝5,500千円

4. 財務活動によるキャッシュ・フローの区分

- (1) 長期借入れによる収入 100,200千円

長 期 借 入 金			
返済（資料7）	80,000	期首	120,000
		新規借入	
期末	140,200		△100,200

- (2) 長期借入金の返済による支出 △80,000千円

- (3) 配当金の支払額 △13,400千円

- ①  $180,000 \text{千円} \times \frac{1}{4} - (25,000 \text{千円} + 15,000 \text{千円}) = 5,000 \text{千円}$
- ②  $16,340 \text{千円} - 15,000 \text{千円} = 1,340 \text{千円}$
- ③ ① > ② ∴ 利益準備金積立額1,340千円（配当金  $\times \frac{1}{10}$ ）
- ④  $1,340 \text{千円} \times 10 = 13,400 \text{千円}$

5. 現金および現金同等物（営業活動によるキャッシュ・フローの内訳は省略）

現金および現金同等物 (単位：千円)			
期首残高	100,000 <sup>*1</sup>	定期預金の預入による支出	740
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,160	有形固定資産の取得による支出	280,000
定期預金の払戻による収入	2,000	有価証券の取得による支出	5,000
有形固定資産の売却による収入	147,000	長期借入金の返済による支出	80,000
有価証券の売却による収入	5,500	配当金の支払額	13,400
長期借入れによる収入	100,200	期末残高	30,720 <sup>*2</sup>

\*1 期首現金預金104,400千円－満期が3カ月を超える定期預金4,400千円＝100,000千円

\*2 期末現金預金33,860千円－満期が3カ月を超える定期預金3,140千円＝30,720千円

【5】

1. 土地の評価替え

借方	土 地	2,000 <sup>*1</sup>	貸方	繰延税金負債	600 <sup>*2</sup>
				評価差額	1,400 <sup>*3</sup>

\*1  $5,000 \text{千円} - 3,000 \text{千円} = 2,000 \text{千円}$

\*2  $2,000 \text{千円} \times 30\% = 600 \text{千円}$

\*3  $2,000 \text{千円} \times (100\% - 30\%) = 1,400 \text{千円}$

2. 投資と資本の相殺消去

借方	資本金当期首残高	558,600	貸方	子会社株式	900,000
	利益剰余金当期首残高	300,000		非支配株主持分当期首残高	172,000 <sup>*2</sup>
	評価差額	1,400			
	のれん	212,000 <sup>*1</sup>			

\*1 900,000千円 - (558,600千円 + 300,000千円 + 1,400千円) × 80% = 212,000千円

\*2 (558,600千円 + 300,000千円 + 1,400千円) × (100% - 80%) = 172,000千円

3. のれんの償却

借方	のれん償却額	10,600 <sup>*</sup>	貸方	のれん	10,600
----	--------	---------------------	----	-----	--------

\* 212,000千円 ÷ 20年 = 10,600千円

4. 非支配株主への当期純利益の按分

借方	非支配株主に帰属する当期純利益	25,400 <sup>*</sup>	貸方	非支配株主持分当期変動額	25,400
----	-----------------	---------------------	----	--------------	--------

\* 127,000千円 × (100% - 80%) = 25,400千円

5. 子会社配当金の修正

借方	受取配当金	32,000 <sup>*1</sup>	貸方	剰余金の配当	40,000
	非支配株主持分当期変動額	8,000 <sup>*2</sup>			

\*1 40,000千円 × 80% = 32,000千円

\*2 40,000千円 × (100% - 80%) = 8,000千円

6. 内部取引の相殺消去

借方	売上高	210,000	貸方	売上原価	210,000
----	-----	---------	----	------	---------

7. 期末商品に含まれる未実現利益の消去 (ダウン・ストリーム)

借方	売上原価	3,000 <sup>*1</sup>	貸方	商品	3,000
	繰延税金資産	900		法人税等調整額	900 <sup>*2</sup>

\*1 18,000千円 ×  $\frac{20\%}{120\%}$  = 3,000千円

\*2 3,000千円 × 30% = 900千円

8. 債権・債務の相殺消去

(1)①売掛金・買掛金の相殺消去

借方	買掛金	40,000	貸方	売掛金	40,000
----	-----	--------	----	-----	--------

②貸倒引当金の修正 (ダウン・ストリーム)

借方	貸倒引当金	400	貸方	貸倒引当金繰入額	400 <sup>*1</sup>
	法人税等調整額	120 <sup>*2</sup>		繰延税金負債	120

\*1 40,000千円 × 1% = 400千円

\*2 400千円 × 30% = 120千円

(2)①貸付金・借入金の相殺消去

借方	長期借入金	10,000	貸方	長期貸付金	10,000
----	-------	--------	----	-------	--------

②利息の相殺消去

借方	受取利息	400	貸方	支払利息	400 <sup>*</sup>
----	------	-----	----	------	------------------

\* 10,000千円 × 4% = 400千円

9. 固定資産の売却に関する未実現利益の消去 (アップ・ストリーム)

借方	建物売却益	30,000	貸方	建物	30,000
	減価償却累計額	3,000		減価償却費	3,000 <sup>*1</sup>
	繰延税金資産	8,100		法人税等調整額	8,100 <sup>*2</sup>
	非支配株主持分当期変動額	3,780 <sup>*3</sup>		非支配株主に帰属する当期純利益	3,780

\*1 30,000千円 ÷ 10年 = 3,000千円

\*2 (30,000千円 - 3,000千円) × 30% = 8,100千円

\*3 (30,000千円 - 3,000千円 - 8,100千円) × (100% - 80%) = 3,780千円

10. 繰延税金資産・繰延税金負債の相殺消去

借方	繰延税金負債	120	貸方	繰延税金資産	120
	繰延税金負債	8,100		繰延税金資産	8,100